



NPO法人 日本トラベルヘルパー協会

WHITE PAPER

トラベルヘルパー という働き方

仕事の入り方・収入の考え方・キャリア。
「取って終わりではない」資格の、その先の話。



「資格を取ったあと、本当に仕事はあるの？」

「未経験でも、続けていけるの？」

——この資料は、そんな疑問に正面からお答えするために作りました。

特定非営利活動法人 日本トラベルヘルパー協会

2026年8月発行

そもそも、トラベルヘルパーとは

トラベルヘルパー（外出支援専門員）は、介護の技術と旅の知識をあわせ持ち、ちょっとしたお出かけから泊まりの旅行まで、準備から当日まで一人で支えられる専門職です。

要介護・要支援の認定を受けている方は、全国で約708万人（2024年3月末）。その多くが「移動が不安」「トイレや入浴の介助が心配」「家族だけでは負担が大きい」という理由で、外出や旅行をあきらめています。私たちは、その「あきらめ」をなくす人を育てています。

この資格が、他と違うところ

トラベルヘルパー資格は、1995年から介護旅行を実施してきた**あ・える倶楽部**の「現場」から生まれました。だから、学んだことがそのまま仕事につながります。検定に合格して終わり、ではありません。合格 → 登録 → 現場で働く、までが一続きです。



▲ 温泉旅行への同行。移動・観光・入浴介助まで、旅を丸ごと支えます。

仕事は、どうやって入ってくるのか

いちばん多いご質問が、これです。答えはシンプルで、資格を取ったあと「登録」をすると、お仕事を紹介してもらえる仕組みがあります。



お仕事を紹介するのは、グループの**あ・える倶楽部（株式会社SPI）とアエルズ**です。介護旅行の依頼を受け付け、登録トラベルヘルパーにお仕事を紹介・おつなぎします。あなたは「営業して仕事を取ってくる」必要がありません。**紹介を受ける側**として始められます。

「指名」という、うれしい仕組み

一度ご一緒したお客様から「またあの人に」とご指名いただけることがあります。指名は、あなたの仕事が信頼された証。経験を積むほど、指名が増えていきます。

3 Styles

3つの働き方

トラベルヘルパーの働き方は、ひとつではありません。ご自身の状況に合わせて選べます。

副業型

本業のスキマで

月に数件から。介護職・看護職の方が、お休みの日に副業として始めるケースが多数です。今の仕事を続けながら、無理なく。

職場で活かす

施設・事業所で

お勤め先の外出支援・レクリエーションの担当者として。施設のサービス向上に、資格を役立てる方も増えています。

専門型

フリーランスで

経験を積んで、専門・開業へ。指名が増え、対応できる案件が広がると、これを本業にする道もひらけます。



▲ 日帰りのお出かけ・お墓参りの同行。日々のちょっとした外出こそ、生活の質を支えます。

多くの方が「副業型」から始めています。介護・看護のお仕事を続けながら、月に数件のペースで経験を積み、慣れてきたら少しずつ増やす——そんな無理のないスタートが可能です。

収入は、どう決まるのか

収入は「時給いくら」という固定ではなく、**お仕事の内容と、あなたの経験・信頼**によって決まります。基本的な考え方はこうです。

案件ごとの報酬 + 指名・紹介 + 経験に応じた評価

一件ごとの介護旅行・外出支援のお仕事に対して報酬が支払われ、指名や紹介、そして経験・品質の評価が、収入に反映されていきます。

経験が積み重なる「ランク制度」

トラベルヘルパーには、経験・品質・信頼に応じた**ランク制度**があります（2026年7月導入）。資格の上下ではなく、実際のお仕事の積み重ねが評価される仕組みで、ランクが上がると担当できる案件や報酬の条件も広がります。

- ✓ 一件ごとのお仕事に対する報酬
- ✓ ご指名をいただいた場合の指名料
- ✓ 新しい方をご紹介した場合の紹介報酬
- ✓ 宿泊・遠方など、内容に応じた加算

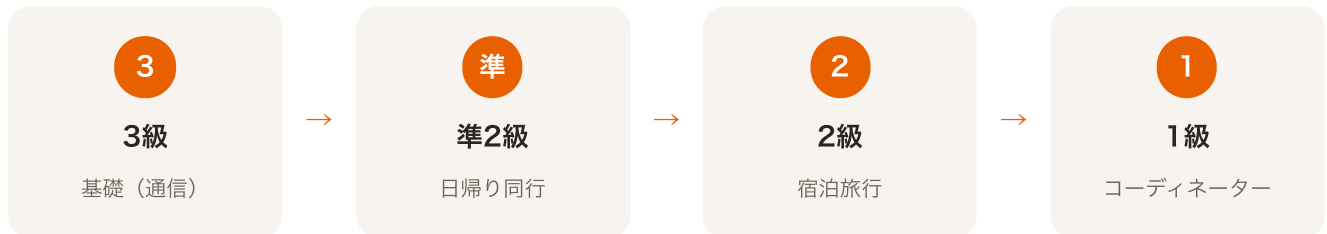
具体的な金額は、説明会でお伝えします

報酬の具体的な水準は、働き方（副業か専業か）やご経験によって幅があるため、この資料では「決まり方の仕組み」までをご説明しています。「**実際いくらくらいになるの？**」という具体的なお話は、**無料説明会・個別相談で、あなたの働き方に合わせて具体的にご案内します。**

※お仕事の紹介・報酬のお支払いは、あ・える倶楽部（株式会社SPI）が行います。協会は資格の認定・登録までを担います。

取ったあとも、ひとりじゃない

資格は、4段階でステップアップ



まずは3級から。経験を積みながら上の級を目指すことで、対応できるお仕事の幅が広がります。1級は、介護旅行を企画・提案し、地域で外出支援を広げるリーダーの資格です。

全国の仲間とつながる

トラベルヘルパーは全国にいます。資格を取ったあとも、学びと交流の場があります。

- ✓ 毎月のオンライン勉強会（会員無料／非会員も参加可・目安2,000円）で、事例やノウハウを共有
- ✓ トラベルヘルパーマガジンで、全国の介護旅行の事例1,000件以上を学べる
- ✓ 困ったときに相談できる、全国の会員ネットワーク

「取って終わり」の資格ではありません。学ぶ場と働く場、そして仲間とのつながりが、ずっと続きます。あなたの経験は、次のトラベルヘルパーを育てる力にもなります。

よくある不安に、お答えします

Q. 介護や看護の資格がなくても、始められますか？

A. 3級はどなたでも受講できます。お仕事として同行する準2級以上は、介護・看護系の資格（初任者研修・介護福祉士・看護師など）が必要です。

Q. 年齢が高めですが、大丈夫でしょうか？

A. 幅広い年代の方が活躍しています。介護・看護のご経験は、むしろ強みになります。お客様に近い世代であることが、安心につながる場面も多くあります。

Q. 体力に自信がありません。

A. 力任せではなく、正しい介助技術で支えるのがトラベルヘルパーです。研修では「無理なく安全に」を実際の街で学びます。日帰りの外出支援から始めることもできます。

Q. 働きながらも、資格は取れますか？

A. 3級は通信、準2級の研修は日帰り2日間です。多くの方がお仕事と両立しながら取得しています。研修日程は年間で公開しています。

Q. 本当に、仕事はあるのでしょうか？

A. 要介護の方は約708万人。一方で介護と旅の両方が分かる人材は、全国的にまだ足りていません。あ・える倶楽部・アエルズがお仕事を紹介する仕組みもあります。

Q. まず何から始めればいいですか？

A. 毎週金曜14時の無料オンライン説明会（または個別相談）で、あなたの状況に合った始め方をご提案します。「話を聞いてみたいだけ」でも大歓迎です。

NEXT STEP

次の一步を、踏み出しませんか。

この資料を読んで「もう少し詳しく知りたい」と思われたら、ぜひ次のいずれかへ。すべて無料です。

① 無料オンライン説明会（毎週金曜14時）

Zoomで少人数。資格・働き方・収入を、その場で質問できます。

② 個別相談（日時をご都合に合わせて）

金曜が難しい方へ。同じ内容を1対1で、ゆっくりお話しします。

③ 1分でわかる「級診断」

5つの質問で、あなたに合う級がわかります。



日本トラベルヘルパー協会

travelhelper.jp

特定非営利活動法人 日本トラベルヘルパー協会

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-24-11 1F

TEL 03-6415-6688（平日）／ info@travelhelper.jp